

(別記)(公表様式1)

新潟県福祉サービス第三者評価結果公表基準

1 第三者評価機関名

一般社団法人 新潟県経営支援センター

2 受審施設・事業所

(1) 施設・事業所情報

(評価結果確定日現在)

名称： まつだい保育園	種別： 保育園 (保育所型認定こども園)
代表者氏名： 園長 佐藤 あゆみ	定員：35 (利用人数) 39名
所在地：〒942-1526 新潟県十日町市松代 3526-10	
連絡先電話番号： 025 - 597 - 2178	FAX番号： 025 - 597 - 2612
ホームページアドレス	<a href="https://matsudai.fukushikai.webes.jp/matsuho/">https://matsudai.fukushikai.webes.jp/matsuho/</a>
<b>【施設・事業所の概要】</b>	
開設年月日：平成30年4月1日	
経営法人・設置主体(法人名等)：社会福祉法人 松代福祉会	
職員数	常勤職員：9名 非常勤職員：9名
専門職員	(保育士・幼稚園教諭) 10名 (管理員) 1名
	(保育士) 2名 (管理栄養士) 2園兼務 1名
	(保育助手) 2名 (調理員) 外部委託 2名
施設・設備の概要	(保育室) 4室 (園児用トイレ) 3カ所
	(乳児室) 2室 (遊戯室ステージ付き) 1室
	(ほふく室) 1室 (乾燥室) 2室
	(地域子育て支援センター室) 1室 (医務室) 1室
	(事務室) 1室 (調理室) 1室
	(会議室) 1室 (職員休憩室) 1室
	(教材室) 1室 (遊具室) 1室

(2) 理念・基本方針

保育理念

子ども一人ひとりを大切に、保護者や地域から信頼される保育園をめざす

保育目標

『元気、考える、心豊かな子ども』

～友だちとの生活をとおして自分らしさを育みいきいきと遊べる子ども～

### 3 評価結果

#### (1) 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年10月10日(契約日) ~ 令和6年2月20日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	0回(年度)

#### (2) 総評

特に評価の高い点

##### ○地域の子育ての核となり、信頼され、愛される園づくり

園児減少という課題がある中、園長を中心に職員が一丸となって保育に邁進している。園児だけでなく、地域においても、『子育て支援センターすくすく』を核として、未就園児親子の育児不安を解消している。普段から地域住民、老人施設とも交流し、保、小、中、高との連携も深め、松代地域全体で子どもを育てようとする仕組みができ、明るい未来を示している。

園外の活動としては、地域の伝統行事を大切にし、参加することで子どもたちが地域の中で生き、ふるさとを大切にしようとする心が子どもだけでなく大人も巻き込んで展開されている。

保育目標の「子ども一人ひとりを大切にし、保護者や地域から信頼される保育園を目指す」をこのまま実践し、今以上に愛される園づくりが地域の活性化にも繋がっていく。

##### ○一人ひとりが輝く、保育と豊かな自然環境の中で行う食育

十日町市の四季折々豊かな自然の中で、春夏秋だけでなく冬期間にも野外に出て活動出来るように全体的な保育計画が立案され、環境整備もされている。異年齢児保育を実践することで、理念や育ち合う子どもの姿を明確にしている。具体的には、園全体が遊び場となり、人数が少ないことで遊びや体験が偏らないようにと「今日もよろしくね」活動や当番活動、行事が園長以下、職員全体が関わる中で共有されている。自然環境に目を向け、命との関りを体験し、SDGsへも取り組みも始めている。

食育計画も保育の中に浸透しており、楽しく食事をするだけでなく、保育活動と連携しており、食が生きる意欲となっている。

##### ○働きやすさ

有給取得のしやすさ、給与、福利厚生、職員間の連携の良さなどにおいて、職員の満足度は高く、働きやすい職場であることが見える。人材確保と定着は園が持続していく上でとても重要であるが、人員数は安定している。園児数の減少からの余剰人員は、他施設への異動で対応して、職員の働く場所の確保についても十分なケアをしている。

## 今後の取り組みが望まれる点

### ○園児数減少の対応と地域への役割の変化

保育目標「元気、考える、心豊かな子ども」～友だちとの生活を通して自分らしさを育み、生き生きと遊べる子ども～を目指し、保育計画が立案されているが、今一度、職員が参画する中で、それぞれの想いが語れる場を作り、PDCAサイクルを活用した保育運営ができると安心して保育に従事することができる。

法人も園児が減少していくことを想定し、中・長期計画の中で職員の育成について柔軟に考えている。子育ての核として園が存続できるように新たな地域への役割が検討されることに期待する。

### ○保護者の多様なニーズに応えるための工夫

保育方針「豊かな人間性を持った子どもを育成する」と保育目標の中の「入所する子どもの保護者に対し、その意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、保育所の特性や保育士の専門性を生かして、その援助に当たる。」と掲げられているように、保護者の多様なニーズに応えるための園づくりと職員の専門性を生かすことへの取り組みが、今後の課題を解決することに繋がっていく。

コロナ禍の保育を経験し、緊張感ある中での保育から解放され、自園の目指す保育を進めている。松代の自然を生かしたここでしかできない保育を目指していくことで理念や方針に近づくことができると考える。

リーダーシップのある園長以下、温かい職員集団の力を発揮し、園児、保護者、地域と喜びを共有できることを望む。

### ○理念と保育目標の掲示と計画及び記録の見直し

法人との連携がしっかりしており、理念や保育目標は策定されているが、理念の提示場所が少なく周知ができる状態になっていない。本来は理念と目標が同時に示され、それが職員にとっての羅針盤となる。保護者や外部にも園の考えを示すうえで大きな土台となるべきであることから、今一度検討・改善することでより目標が明確になり、保育がしやすくなると考える。

年間の外部研修の計画作成が十分ではない。職員個々の育成に合わせた計画や実施の評価を行ってほしい。努力目標ではあるが、保育サービスに関する自己評価が行われていない。保育サービスのさらなる向上のため取組に期待したい。

記録方法の見直しについては、園独自で職員が保育をふりかえる仕組みはあるが活かされていない。また、細かな対応も実施しているが確認できない。記録は保育サービスのさらなる向上のためにも重要である。記録の残し方、記入方法など職員の負担に配慮した上で、漏れがないように検討してほしい。

( 3 ) 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

( R 6.2.26 )

平成 30 年に民営化し、初めて第三者評価を受審しました。評価項目が多岐にわたり、これまで意識してこなかったことも多く、新たに気付かされることが多々ありました。職員一人ひとりが、評価項目を考え評価基準に目を通し保育を振り返ることで、保育に対する意識が変わっていくのを感じました。

また、自園の保育で大切にしている「豊かな自然の中で行う保育」「地域との連携」「食育」「異年齢児保育」について評価していただけたことは、日頃の保育に自信を持つことができ、職員の士気を高めることにつながったように思います。これを機に今後さらに充実させていけるよう努めていきたいとします。

改善点として挙げられた中には、いくつかの記録の不備がありました。説明を聞き、日頃当たり前に行っているようなことについても記録が必要だと理解することができました。記録があることで安定した保育が提供できるのだということに気づかされました。さらに自分たちでは園評価だと思い取り組んでいたことが十分でなかったという点があります。これは早急に改善していきたいところです。

今回の評価を職員全員で振り返り、良かった点、不十分な点、これからの課題等を積極的・具体的に話し合い、これからの保育に繋げ、「保護者や地域に信頼される保育園」を目指していきたいとします。

園長 佐藤あゆみ

( R . . )

( R . . )

( 4 ) 評価細目の第三者評価結果 ( 別添 : 公表様式 2 のとおり )

【参考情報】施設・事業所の取組 ( 事業者記載欄 )

( 福祉人材育成の取組、サービスの質の向上に向けた取組など )

# 評価細目の第三者評価結果

## 【 保育所版 】

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

### - 1 理念・基本方針

- 1 - (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
評価細目	評価結果	コメント
1 - 1 - (1) - 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	理念、基本方針については、重要事項説明書には記載があり保護者総会にて説明を行っているが、広報やHP等において知ることができないため、十分な周知とは言えない。理解を得るような取組を実施してもらいたい。

### - 2 経営状況の把握

- 2 - (1) 経営環境の変化等に対応している。		
評価細目	評価結果	コメント
2 - 2 - (1) - 事業経営を取り巻く環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	事業経営に関しては、子育て支援センターを中心に地域の現状および今後のニーズを把握しており、園及び法人で連携しながら、職員の配置をはじめ経営分析・実施もされている。外部機関による財務分析、法人での収支確認も行ないながら把握している。その状況を職員に周知することが期待される。
3 - 2 - (1) - 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b	

### - 3 事業計画の策定

- 3 - (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
評価細目	評価結果	コメント
4 - 3 - (1) - 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	経営及び保育共に中長期計画は策定されており、年度末の見直しによる改訂や共有も行われ、5年を長期に位置付けられている。第三者評価では3～5年を中・長期とされているが、ビジョンをより明確にするためには10年を長期として計画を策定する方が望ましいと考える。
5 - 3 - (1) - 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	
- 3 - (2) 事業計画が適切に策定されている。		
評価細目	評価結果	コメント
6 - 3 - (2) - 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	事業計画の策定に職員が参画し、評価・見直しがなされているが手順をより明確にすることが望ましい。また、保護者に対しても行事計画のみでなく、事業計画を含めた周知・説明されることが望まれる。
7 - 3 - (2) - 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	

### - 4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

- 4 - (1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
評価細目	評価結果	コメント
8 - 4 - (1) - 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	事業計画内の進捗管理表や各学年の振り返りシートを活用した質向上に向けてのPDCAは機能しているが、保育サービスに関する職員各自の自己評価が実施されていない。
9 - 4 - (1) - 評価結果に基づき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	

評価対象 組織の運営管理

- 1 管理者の責任とリーダーシップ

- 1 - (1) 管理者の責任が明確にされている。		
評価細目	評価結果	コメント
10	a	就任初年度ではあるが、これまでの実績と合わせ、意欲に溢れており、保育の質の向上に向け、具体的に邁進している。保護者に対しては、口頭や文書で理解を職員に対しては職務分掌を通して自らの役割・責任について表明している。遵守されるべき法令等についても研修に参加しているが、十分とは言えない。さらなる取り組みと理解が求められる。
11	b	
- 1 - (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
評価細目	評価結果	コメント
12	b	保育の質向上に向けた取り組みとして、時には園長自ら現場に出向き、会議などでも職員の声を聴きながら保育の評価分析を行っている。職員の業務負担を減らすための人員配置や声掛けによる意識向上なども行っているが、双方においてその実施状況を明記することが求められる。外部研修について、キャリアアップ研修以外の年間計画が策定されていない。
13	b	

- 2 福祉人材の確保・育成

- 2 - (1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
評価細目	評価結果	コメント
14	b	人材確保の取り組みとして、配置や体制作りの計画や実施は行われており、職員一人ひとりの意向も調査票を参考に反映されている。また、人事規定は策定と定期的(年1回)な評価も行われ、職員の処遇改善のしくみも確立されている。法人や園としての人材育成に対する考えについての明文化や処遇改善の仕組みについて職員に周知がされると、人事管理の仕組みがより向上される。
15	b	
- 2 - (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
評価細目	評価結果	コメント
16	b	法人および園として、働きやすい環境づくりの取り組みは実施されている。メンタルヘルスの相談窓口やカウンセラーの配置もある。また、ホームページで職員が生き生きと働く姿を発信している。改善策に対する取組が具体的な計画に反映されるとは言い難い。人員が充足していることもあるが、人材確保に取組は実施していない。
- 2 - (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
評価細目	評価結果	コメント
17	a	外部研修等、実施されている。研修の年間計画が策定されると職員個々の目標設定が明確になり、スキルアップに繋がる。園内研修は、定期的実施されており、職員間で共有されている。日々の保育業務内で、個別にOJTは行われているが、実施の記録が作成されていない。人材育成のためにも必要。
18	b	
19	b	

- 2 - (4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
評価細目	評価結果	コメント
20	b	マニュアルに沿って積極的に実習生の受け入れを行っている。実習生を指導する者に対する研修は実施されていない。今後の実施が望まれる。

### - 3 運営の透明性の確保

- 3 - (1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
評価細目	評価結果	コメント
21	b	ホームページに理念や保育目標を公開し、年2回発行の広報誌でも活動を紹介するなど、地域に向けて積極的に情報を公開している。
22	a	第三者評価については、初めての受審のため定期とはならない。職務分掌を通して職員に向けて責任や権限を周知したり、監事による内部監査・外部による監査での経営改善の実施など、経営や運営のための様々な取り組みがなされている。

### - 4 地域との交流、地域貢献

- 4 - (1) 地域との関係が適切に確保されている。		
評価細目	評価結果	コメント
23	b	地域の中で、多様な交流を進めており、園児や保護者にとって、より良い体験活動となっている。また、ボランティアの受け入れも計画に基づいて積極的に行っている。
24	b	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。今後はそれらについて、より具体的に明文化されることが望ましい。活用できる社会資源や地域情報の収集は不十分である。情報の整理、活用促進に関する発信が望まれる。
- 4 - (2) 関係機関との連携が確保されている。		
評価細目	評価結果	コメント
25	b	関係機関との連携はなされており、配慮を要する園児および保護者のために三者面談を行うなど、必要に応じた取り組みが行われている。より迅速に対応するためにも、連携機関のリストがあると望ましい。
- 4 - (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
評価細目	評価結果	コメント
26	a	子育て支援センターを核とした地域の子育て拠点活動や小学生向けの園庭開放など、園の機能を十分に地域に還元している。
27	a	他にも法人として寄付事業の参加や家族介護教室の実施、子育て支援センターを福祉避難所に設定するなど、地域のニーズに合わせた公益活動も積極的に行っている。

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

- 1 - (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
評価細目	評価結果	コメント
28	a	- 1 - (1) - 子どもを尊重した福祉サービス提供について共通の理解を持つための取組を行っている。
29	b	- 1 - (1) - 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。
- 1 - (2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
評価細目	評価結果	コメント
30	b	- 1 - (2) - 利用希望者に対して保育所の選択に必要な情報を積極的に提供している。
31	a	- 1 - (2) - 保育の開始・変更に当たり保護者等にわかりやすく説明している。
32	b	- 1 - (2) - 保育所の変更に当たり保育の継続性に配慮した対応を行っている。
- 1 - (3) 利用者満足の向上に努めている。		
評価細目	評価結果	コメント
33	a	- 1 - (3) - 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。
- 1 - (4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
評価細目	評価結果	コメント
34	b	- 1 - (4) - 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。
35	b	- 1 - (4) - 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。
36	b	- 1 - (4) - 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。



- 1 - (5) 安全・安心な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
評価細目	評価結果	コメント
37	a	法人が立ち上げたリスクマネジメント委員会に参加し、情報共有しながら、整備したマニュアルを基に安全管理を行っている。職員も研修に参加し、力量などの向上に努めている。
38	b	感染症マニュアルは職員にも周知され、定期的な園内研修も行き、保護者にも掲示板やメールを活用し情報を提供している。責任者とその役割が明文化されていない。(責任者は副園長が担っている)
39	b	災害時の対応体制が明文化され、日頃の訓練や研修の参加、食料や備品の備蓄など安心安全のための取り組みが行われており、地域の消防署なども連携を図っている。今後はより確実に子どもの安否を把握するためのしくみ(現在はメールを使用)をさらに整備することや周辺施設との協力協定を結ぶことが望ましい。
40	a	事故の発生に備えたマニュアルの整備や職員研修は行われている。「重大」なケースを想定した、より具体的なマニュアルの見直しが必要。

## - 2 福祉サービスの質の確保

- 2 - (1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
評価細目	評価結果	コメント
41	b	オムツ換えの手順や言葉がけなど、保育の標準的な実施方法を年齢別の日課表に記載し、職員にも周知され実践している。
42	b	また、それらは定期的に見直しを行い、保育に反映されている。プライバシー保護についての記載が十分でない。今後の対応が求められる。
- 2 - (2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
評価細目	評価結果	コメント
43	b	指導計画は四期ごとに振り返り、3月に見直しを行っている。入園前の健康調査などで個別に状況を把握し、保育士および栄養士をはじめとする職員間で共有しながら、保育を行っている。
44	b	健康面以外でのニーズの把握をすることが望まれる。
- 2 - (3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
評価細目	評価結果	コメント
45	b	子どもの発達や生活状況の記録は、ファイリングされ管理されている。内容を共有しながら保育を行っており、記録の記入方法も職員に指導を行っている。定期的な会議の開催による見直しが必要。
46	a	子どもの個人情報規定に基づき適切に管理され、園長の責任のもと、職員は誓約書を提出してもらい、漏洩や流出が無いようにしている。保護者にもその取り扱いについては説明を行っている。

評価対象 福祉サービス内容

A - 1 保育内容

A - 1 - (1) 全体的な計画の作成		
評価細目	評価結果	コメント
A	a	理念・保育方針に基づき、現状に合わせた流動的な計画のとなっており、地域の実態に合わせた特色ある活動が記載されている。 職員会議手順書により、全体での参画、評価、見直しがなされている。
A - 1 - (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
評価細目	評価結果	コメント
A	a	園児を取り巻く環境の変化に合わせて作成計画を変更し子どもたちがこち良く過ごせる環境を整備している。 清潔な園内に工夫がみられ、基本的な生活習慣を身につけることができる。 子どもに応じた保育を実践するために職員も参画し、援助を行っている。 温かな交流や個別に落ち着ける場としての絵本コーナーがフロアに配置されており、子どもたちの心を豊かにしている。 行事についても子どもたちが主体的に活動でき、又、保護者の多様なニーズに配慮したり、地域の特色を生かした保育を展開している。
A	a	
A	a	
A	a	
A	a	
A	a	
A	a	
A	a	
A	a	
A	a	
A	b	現在障害のある子どもは在園していない。玄関周りのスロープなどはあるが、二階建て、エレベーターの設置はなく、車椅子の場合には別途対応が必要となる。 地域に根ざし、地域との交流を大切にしており、伝統行事を体験する中でふるさとを大切に思う心を育てている。 特別な支援を要する子どもについても計画、相談、連携が丁寧に取りれている。その保育が更に大勢の保護者に理解を得られるための取り組みがあると良い保育が伝わる。 長時間保育においても安心して過ごせるよう配慮されている。
A	a	アプローチカリキュラムに基づき小学校との連携が密に行われており、保護者にも見通しを持って家庭生活が送れるよう支援している。

A - 1 - (3) 健康管理			
評価細目	評価結果	コメント	
A	A - 1 - (3) - 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	保健計画、及びマニュアルにに基づき、園児一人ひとりの健康管理が適切に行われている。 健康に関する取り組みも園だより、メールにて保護者と情報共有し、発育・発達状況や健康の状況を把握し、有効に活用されている。 アレルギー対応についてもガイドラインに沿って管理運営されている。 職員も研修内容についても情報共有なされている。
A	A - 1 - (3) - 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。		
A	A - 1 - (3) - アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。		
A - 1 - (4) 食事			
評価細目	評価結果	コメント	
A	A - 1 - (4) - 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	山菜を取りに行ったり、畑で野菜などを育てるなど、食事を楽しむための工夫や配慮がなされている。 年間の食育計画の中でも、地域の特性を生かした活動が盛り込んであり、給食だけでなく、実践した内容を写真入りで家庭に配布しており、子どもたちの食への意欲を育てている。 異年齢での会食や年長児の保護者には、給食試食会も実施されており、食育に対して丁寧に取り組んでいる。
A	A - 1 - (4) - 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。		

## A - 2 子育て支援

A - 2 - (1) 家庭との緊密な連携			
評価細目	評価結果	コメント	
A	A - 2 - (1) - 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	日常的に保護者と情報交換がなされており、園での活動をお便り等で伝え、相互で喜びを共有できている。保育参観だけでなく保育参加も実施されている。
A - 2 - (2) 保護者等の支援			
評価細目	評価結果	コメント	
A	A - 2 - (2) - 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	個々の保護者の相談に応じると共に、家庭状況の背景に思いをはせて、園全体で関わっている。 関係機関とも連携体制を整えており、園での兆候を見逃さず、早期に相談対応を進め、予防的に保護者を援助している。 職員も研修する中で連携が取れている。
A	A - 2 - (2) - 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。		

## A - 3 保育の質の向上

A - 3 - (1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
評価細目	評価結果	コメント	
A	A - 3 - (1) - 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	園として、個人の目標設定やふりかえりに力を入れているが、保育士の定期的な自己評価の実施により、今以上に個々の専門性が向上し、園全体の自己評価にもつながり、保育実践の改善や質の向上を目指すことができる。